

経営発達支援事業評価シート【平成30年度版】

I. 経営発達支援事業の内容

評価A：目標以上の実績、評価B：概ね目標に近い実績、評価C：概ね目標の半分程度の実績、評価D：ほぼ実績なし

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	目標	実績値		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度補助金活用有無
		H30	実績値	自己評価		
<b>1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】</b>						
(1) 景況感リサーチシートで経済動向の調査		調査数 160社	99社	C	実施内容 (補助金活用含む) 湧別町内の景況感をリサーチするためのリサーチシートを収集し、商工会ホームページに掲載した。四半期に一度巡回訪問等による調査を予定していたが、期間が短く現実的ではなかったため1回の実施となった。 もたらされた効果や課題 経営分析や事業計画策定における外部環境の把握に活用することができたが、直接的な支援には有効に活用することができなかった。 今後の対応等 (補助金活用含む) 巡回訪問等において資料の提示を行うことで、地域の状況を理解し経営の一助として活用してもらう。	
<b>2. 経営状況の分析に関すること【指針①】</b>						
(1) 巡回訪問による決算データの収集		-	-	B	実施内容 (補助金活用含む) 確定申告等において決算データを収集し、不採算経営の事業者をリストアップした。 もたらされた効果や課題 黒字転換へ向けての支援内容を決算データ上ですぐに確認することができる。 今後の対応等 (補助金活用含む) 継続的な経営分析のため、引き続きデータ収集を行う。	
(2) 小規模事業者景況感リサーチシートとの連動		-	-	C	実施内容 (補助金活用含む) リサーチシートでの調査により経営課題を抽出した。 もたらされた効果や課題 経営課題に対して巡回訪問などのアプローチを行ったが、事業内容としてあげていたSWOT分析や財務分析を有効に提案活用できなかった。 今後の対応等 (補助金活用含む) 定期的にリサーチシートを収集することで持続的発展に向けた支援を行う。必要に応じ専門家派遣事業等を活用する。	
(3) 事業承継予定者に対する対応		-	-	B	実施内容 (補助金活用含む) 確定申告やリサーチシートにおいて事業承継予定者を抽出した。 もたらされた効果や課題 うち1件が第三者承継（親族外）をするための専門家派遣事業を実施。廃業から承継に向けて動いている。 今後の対応等 (補助金活用含む) 事業承継をするための方法や経営分析を巡回訪問等で提案していく。専門的な知識を要する場合や第三者承継など商工会が入り込めないような場合は専門家派遣事業を活用して対応する。	
(4) 経営分析セミナーの開催	有	開催2回 分析11社	1回 13社	B	実施内容 (補助金活用含む) 8/30にセミナーを実施、13社の出席があった。 もたらされた効果や課題 出席者13社がセミナーにおいて経営分析を行ったことで自社の経営課題を意識させることができた。 今後の対応等 (補助金活用含む) 巡回訪問等を通じて課題解決、事業計画の策定に向けた支援をしていく。	有 セミナー 個別相談会 開催
<b>3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】</b>						
(1) 事業計画策定支援セミナーの開催	有	1回	1回	B	実施内容 (補助金活用含む) 8/31に専門家を招へいして個別相談会方式でのセミナーを実施。 もたらされた効果や課題 3社が出席し、事業計画の策定支援を受けた。 今後の対応等 (補助金活用含む) 巡回訪問等を通じて計画の進捗確認、支援をしていく。	有 セミナー 個別相談会 開催
(2) 上記セミナー、巡回訪問、窓口相談による事業計画の策定支援		11社	11社	B	実施内容 (補助金活用含む) 上記セミナーおよび巡回訪問等において11社の事業計画策定支援を行った。 もたらされた効果や課題 11社のうち経営力向上計画認定1件、先端設備等導入計画1件、持続化補助金の申請7件につながった。 今後の対応等 (補助金活用含む) 巡回訪問等を通じて計画の進捗確認、支援をしていく。	

I. 経営発達支援事業の内容

評価A：目標以上の実績、評価B：概ね目標に近い実績、評価C：概ね目標の半分程度の実績、評価D：ほぼ実績なし

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	目標	実績値		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度補助金活用有無
		H30	実績値	自己評価		
<b>4. 事業計画策定後の実施支援に関する事【指針②】</b>						
(1) 事業計画策定後のフォローアップ		44回	79回	A	実施内容(補助金活用含む) 計画策定を支援した11社に対してフォローアップを行った。 もたらされた効果や課題 事業者との関わりが深くなっていることを実感している。事業者からの相談事も増えてきた。 今後の対応等(補助金活用含む) 次年度以降も同様に、実効性のある計画を推進するため、フォローアップしていきたい。	
<b>5. 需要動向調査に関する事【指針③】</b>						
(1) 個者の商品サービスのアンケート調査支援		調査5社 回収50枚	2社 27枚	C	実施内容(補助金活用含む) 店舗およびイベントにおいて消費者アンケートを実施した。 もたらされた効果や課題 実施してほしい事業者が2件しか抽出できなかった。また、回収枚数も少なく有効なデータが採れずサービス商品の改良につながる支援ができなかった。 今後の対応等(補助金活用含む) リサーチシートや巡回訪問等において商品改良についてのニーズをもつ事業者を抽出する。	
(2) 商談会における需要動向調査	有	調査1社 回収20枚	0社 0枚	D	実施内容(補助金活用含む) 道商工連の主催する商談会にて実施予定だったが、事業者の都合でキャンセルとなり調査を実施しなかった。 もたらされた効果や課題 - 今後の対応等(補助金活用含む) 次年度は調査を実施したい。	有 商談会への出展
(3) 特産品の需要動向調査		調査1回 回収200枚	1回 433枚	A	実施内容(補助金活用含む) 地域資源を活用した特産品の需要動向調査のため、女性部の実施するチガイのわかるカレー事業についてチューリップフェア来場者を対象にアンケートを実施した。 もたらされた効果や課題 アンケート結果を対象事業所へフィードバックし、特産品の需要を把握し、商品改良や開発に活用してもらう。 今後の対応等(補助金活用含む) 引き続き特産品の需要動向を調査し、新たな提供店を獲得できるようアプローチする。	
(4) 個別需要動向調査		調査6社 回収121枚	10社 660枚	A	実施内容(補助金活用含む) チガイのわかるカレー提供店においてお客様アンケートを実施した。 もたらされた効果や課題 アンケート結果を対象事業所へフィードバックし、商品改良に活用してもらう。 今後の対応等(補助金活用含む) 引き続き需要動向を調査し、商品改良のアプローチをする。	
<b>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】</b>						
(1) 地域イベントへの出展支援		支援3件 売上増+1%	10件 +11%	C	実施内容(補助金活用含む) 湧別町産業まつりへの出展支援を実施。支援件数は目標達成しているものの効果があったとは言えず自己評価はCとした。 もたらされた効果や課題 出展の周知と事務手続きに対して支援を行ったが、ブースの商品や演出方法といった具体的な支援には至らなかった。 今後の対応等(補助金活用含む) 出展希望者への巡回訪問等にて支援ニーズを収集する。	
(2) インターネット販売体制の構築		SHIFT 60社 ニッポンセレクト 5社 売上増+3%	45社 2社 +0.9%	C	実施内容(補助金活用含む) 商工会の無料HP作成システムSHIFTへの登録が45件、全国連の商工会特産品販売サイトニッポンセレクトへの登録を2件支援した。 もたらされた効果や課題 持続化補助金を活用した1社については全国から発注できるネット販売サイトの構築をしたことにより1月で約30件の発注があるなど大きな効果を感じている。SHIFTへの登録のみを行った他の事業所についてはそれほど効果が実感できず今後の対応が求められる。 今後の対応等(補助金活用含む) 経営分析や事業計画の策定者から販路開拓ニーズをもつ事業者を抽出し巡回訪問等で支援する。	
(3) 商談会等出展支援	有	支援2社 商談件数6件 売上増+3%	1社 2件 ±0%	A	実施内容(補助金活用含む) 東京都三軒茶屋で開催されたなまらいっしょ北海道フェアに1社が出展、事務局も随行し商品のPRを実施。出展にあたって専門家派遣事業を活用し、展示会や商談にあたってのブースの設営方法や心構えなどを学んだ。なお、商談会の出展予定事業者1社は前述のとおり事業主の都合でキャンセルとなってしまった。 もたらされた効果や課題 事業者の販路開拓、認知度向上を図り売上の増加を図ることができた。都市部における地域特産品需要を調査把握してもらい事業者としての資質向上を図ることができた。さらに、出展により2件の商談が成立、うち1件は大手雑誌社ということもあり大きなPRとなった。目に見える成果が挙げられたと考えるため、評価Aとした。 今後の対応等(補助金活用含む) 引き続き道内、道外への販路開拓希望者を抽出し、積極的な出展に向けて支援したい。	有 商談会、物産展への出展 専門家派遣

経営発達支援事業評価シート【平成30年度版】

Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組

評価A：目標以上の実績、評価B：概ね目標に近い実績、評価C：概ね目標の半分程度の実績、評価D：ほぼ実績なし

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	目標	実績値		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度補助金活用有無
		H30	実績値	自己評価		
(1) 産業間ネットワークとの連携協議		4回	4回	B	実施内容 (補助金活用含む) もたらされた効果や課題 今後の対応等 (補助金活用含む)	
					湧別町産業間ネットワークに4回出席し協議を行った。	
					町内各団体の動向や需要を把握することができたが、役職員間での情報共有ができなかった。 協議内容や情報について商工会各部会等で報告、共有することで地域活性化策を検討する。	
(2) 既存特産品のイベント物産展出展PR		4回	2回	C	実施内容 (補助金活用含む) もたらされた効果や課題 今後の対応等 (補助金活用含む)	
					商工会青年部、女性部がイベントに出展し特産品のPRを実施した。	
					湧別の特産品を町外者にPRすることができた。 湧別ブランドの形成や特産品パンフレットの作成について協議する。	
(3) チューリップSTAMP会加入率の増加		46%	43.60%	B	実施内容 (補助金活用含む) もたらされた効果や課題 今後の対応等 (補助金活用含む)	
					加盟店の少ない湧別地区の商店に対して販促効果を説明し勧誘を実施。3件の新規加入があった。	
					廃業等により脱退もあったが新規加入が3件あり地域内の消費拡大につながった。 引き続き勧誘を図る。	
(4) 住民交流施設さくら利用者の増加		3200人	約2000人	C	実施内容 (補助金活用含む) もたらされた効果や課題 今後の対応等 (補助金活用含む)	
					休憩所、会議、サークル活動の場として提供。利用者の利便性を図るため室内改装を実施。	
					室内がきれいになり使いやすくなったと思うが、利用者が増加するまでには至らなかった。 チャレンジショップなどでの活用を協議する。	

経営発達支援事業評価シート【平成30年度版】

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	本年度実績			実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度補助金活用有無
		H30	実績値	自己評価		
<b>1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事</b>						
(1)				B	実施内容 (補助金活用含む)	金融懇話会や産業間ネットワーク、研修等において各関係団体との情報交換を実施。
(2)	関係機関との情報交換	-	-		もたらされた効果や課題	団体間でのネットワークを拡大することができた。
(3)					今後の対応等 (補助金活用含む)	漁組、農協とのネットワークが薄いので懇話会を開催するなど協議したい。
<b>2. 経営指導員等の資質向上等に関する事</b>						
(1)	研修会、OJTによる指導支援能力の底上げ	-	-	B	実施内容 (補助金活用含む)	経営指導員は、中小企業大学校旭川校への専門研修へ派遣し、経営状況分析支援手法について、飲食業支援の進め方について資質向上を図った。また北海道商工会連合会の経営指導員研修会では経営支援事例を研修することで支援ノウハウを修得することができた。補助員及び記帳専任職員については、労働保険事務の実務についての研修を受講させた。
(2)					もたらされた効果や課題	これにより、支援ノウハウの向上が図れたものとする。
(3)					今後の対応等 (補助金活用含む)	今後も継続してスキル向上に努めたい。
(4)	支援ノウハウを構築する仕組み	-	-	B	実施内容 (補助金活用含む)	各種研修等により習得した支援ノウハウについて共有ファイルに保存し、常時閲覧可能とした。
					もたらされた効果や課題	必要な支援ノウハウを検索、活用することができた。ファイルの保存場所が整理されておらず検索に手間がかかる。
					今後の対応等 (補助金活用含む)	共有ファイルの保存場所を整理する。
<b>3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事</b>						
(1)	職員ミーティングの実施	-	-	C	実施内容 (補助金活用含む)	毎週月曜日の朝に職員全員でミーティングを実施。
					もたらされた効果や課題	会員の情報やスケジュールを共有することができたが、経営発達支援計画の進捗確認までには至らなかった。
					今後の対応等 (補助金活用含む)	定期的(毎月最終月曜日)に経営発達支援計画の進捗状況について議題にあげ、確認する。
(2)	事業評価委員会の開催	-	-		実施内容 (補助金活用含む)	委員会にて全体計画の説明、本年度の実施状況と実績報告を踏まえた提言を評価委員よりいただき、理事会、総会へ定期的に報告することでPDCAが機能するよう取り組む。更にその内容について商工会ホームページへ掲載する。
(3)	商工会理事会での定期的な事業評価				もたらされた効果や課題	次年度の支援、計画に役立つ助言をいただくなど効果があると感じている。
(4)	閲覧可能な仕組み				今後の対応等 (補助金活用含む)	これまで同様、評価委員として外部有識者に参画いただき、提言された内容に基づき事業をスパイラルアップしていきたい。